

金の翼

森野 水琴

男がまとった黒い布の背中に、金の翼が描かれている。
どこか暴走族を連想させるような模様である。

行き先も告げられないまま、私たちは男の背中を追う。

男を追い越さない事と、男の前姿を見ない事がルールになつていて。
過去に何人かが男を追い抜いて、振り向き、男の前姿を見た途端に姿を消した。
まるで異次元空間に連れて行かれたかのように、姿を消したまま戻つてこない。

もう誰も男を追い抜こうとしなくなつた。

男の背中に描かれた金の翼に魅せられたように私たちは追う。

私たちの不安を打ち消すように男が ささやく
さらなる高みに いざなつてあげよう